

みんなで見ないで リレーエッセイ

◎町民の皆さんから皆さんへエッセイ
をつないでいくコーナーです。お誘いが
来たらぜひ書いてくださいね。

み んな の ひ ろ ば

わたしは今年の4月から、職場の上司に誘われて「**雛太鼓**」という和太鼓集団に参加しています。とはいえ、実際には太鼓をたたいているのではなく、**篠笛**という竹で作った横笛を吹いています。当初、篠笛を吹くのは初めてで、正直音を出すための指使いも分かっていなかったので、大学時代にフルートを吹いていたので、その業が転じて何とか篠笛を吹くことができ、現在に至っています。

雛太鼓は結成してから今年で5年目、メンバーのほとんどが女性です。年齢層の幅も広く、しかもそのほとんどが初心者です。しかし、太鼓をたたいている姿は初心者とは思えないほど堂々としており、本当に楽しく演奏しています。

ところで、笛と太鼓の奏法は全く違って、一般的には太鼓の方が簡単に思われがちですが、それは間違いだとわたしは思います。なぜなら、笛は音を出せれば後は指使いで

音を変えて演奏が可能ですが、太鼓は笛のようにはっきりと音程を変えられないため、たたくリズムの強弱やたたきときの感情を表現しながら、全体を合わせなければなりません。さらに曲を練習するのに普通は音源を聞いたり、楽譜を見たりしますが、雛太鼓のメンバーはそういうことは一切しません。一回聞いたリズムを何十回と太鼓をたたいて頭に刻み込み、繰り返しうちに自然とたけるようになっていくのです。その練習熱心さに感心するばかりです。

今、内子町には前回のこのコーナーでガボーさんが紹介した手漉き和紙職人の女性たちや雛太鼓のメンバーたちのように、明るく元気に頑張っている女性がたくさんいます。世の中不景気で大変な中、彼女たちを見ていると「わたしも頑張ろう」と励まされ勇気づけられるのです。

次は、**齋藤宏之さん**（平岡）にお願いいたします。



笛と太鼓
河内 正剛さん
(松尾)

一番左の男性が河内さん